

## 8.女影時計台

「女影時計台は青年の人達によって昭和3年9月に御大典記念として建設され49年余時刻をしらせ道路改良のため昭和51年9月御即位50年を記念し女影時計台として再建  
昭和51年11月」  
(上文が時計台の裏側に表示されています)



2021年2月20日撮影畑中

## 9.文字塔

- 文化八年 1811
- 右面：文化八辛未年八月吉日
- 表面：天下泰平 右 阿ふぎ町谷 八王子道  
奉納 大乘妙典  
日月清明 左 入間川 所沢みち
- 左面：武州高麗郡女影村 願主 興観

(2015 日高市教育委員会 日高の石造物より)



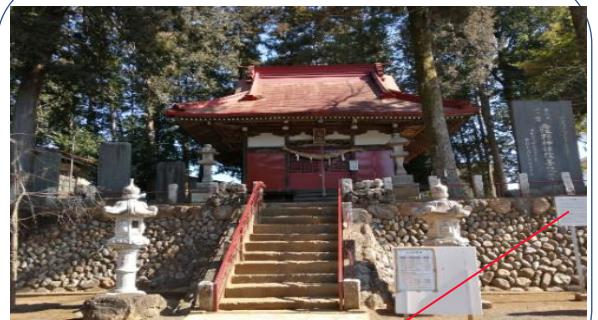
鎌倉街道上道

2021年2月20日撮影畑中

## 10.霞野神社

霞野神社は、明治43年に中沢、女影地区の12社を合祀してできました。本殿は江戸時代末の作と考えられています。柱の上の組物と呼ばれる箇所は、上部からの荷重を支える部分です。ここには、猿、獅子頭の彫刻が施されています。身舎の前方に庇を付けた形式の一間社流造(いっけんしゃながれづくり)で、屋根はこけら葺きです。懸額は、文久元年(1861年)四月穀日(こくじつ)に、甲源一刀流の比留間和十郎源信治の門弟が奉納したものです。

(日高市ホームページより)



2021年2月20日撮影畑中

日高市教育委員会設置の看板に「霞野神社」「女影ヶ原古戦場跡」「鎌倉街道」について解説されています。

## 11.女影ヶ原古戦場跡碑

市内に残る代表的な古文書に「町田家文書」があります。この古文書は南北朝時代の平姓高麗氏の動向のみならず、関東の様子も伝えており貴重なものです。特に高麗経澄(こまつねすみ)は度々足利尊氏軍に従軍し戦功を上げています。

1335年に足利尊氏の直義と鎌倉執権北条高時の遺子相模二郎時行が女影の地で戦った中先代の乱の古戦場の碑と説明があります。

(日高市ホームページ・ひだか探訪お散歩マップより)



町田家文書



女影ヶ原古戦場跡碑

(日高市ホームページより)

2021年2月20日撮影畑中

## 12.小畔川の淵の風情1

## 13.小畔川の淵の風情2

• 高萩地区を流れる小畔川は蛇行が激しい。  
様々な淵を多く見ることができる。

小畔川の淵の風情1



2021年2月20日撮影畑中

小畔川の淵の風情2



2021年2月20日撮影畑中